

## 6. 日本防火協会からのお知らせ

### ◇防災映画「マグニチュード」低廉価格での販売について◇

1995年1月17日に発生した阪神・淡路大震災は、私たちに大きな衝撃をもたらしました。この映画（防災映画「マグニチュード」監督：菅原浩志）はこれを機に、何かしら防災に貢献したいという映画人が集って、ボランティア活動として製作した映画です。

当協会では、現在、1本5,000円で販売しておりましたが、この度、著作権を保有する映画会社（株東宝）から当協会に諸権利が譲渡されたことを機に、来年1月は阪神・淡路大震災の発生から満10年を迎えることも踏まえ、地震の怖さを風化させず、一層の防火防災思想の普及啓発を図っていただきたいと考え、今回から低廉な下記の価格で販売することになりましたので、是非ご活用ください。

申し込み方法：数量、送付先を明記、郵送又はファクシミリ

1. 規格 VHS 1/2インチVHS 90分
2. 価格 1本 2,500円（消費税・送料込）



(画像をクリックすると拡大表示されます)



◎物語◎二十年前に発生した大地震の際、消防署員だった辰雄（田中邦衛）の出動中に、誠（緒形直人）は目の前で母美代子（高橋恵子）を失う。辰雄は妻を救えなかった自責の想いが、誠は母を救えなかった父への恨みが、互いの心を閉ざし、そのまま、誠は母の実家に引き取られてしまう。

そして二十年後、誠は特別救助隊長となって戻ってくる。再会した親子だが、お互い接点が見出せない。そのうち、消防団員になった辰雄と小学校教師の陽子（薬師丸ひろ子）が、共同で実施した消火訓練で、生徒がほや騒ぎを起こし、父子の間はますます気まずいものになってしまう。

これに落胆した辰雄は、消防団をやめ、漁の最中にケガをして入院した。その際、誠は父が二十年間調べてきた地震に関する膨大な資料を見つけ、辰雄への想いを改めると同時に、看病に当たっている陽子が、二十年前に辰雄に助け出された女の子だったことを知る。

親子の絆が結ばれると思われた時に、再び地震が……

---

▲ [このページの上に戻る](#)

## 目次

- [1. 平成16年度安全功労者表彰](#)
- [2. 平成16年\(1~3月\)における火災の概要\(概数\)](#)
- [3. 静岡県女性防火クラブ連絡協議会 研修会](#)
- [4. 地方からの便り](#)